

木材用補修補強剤

タックダイن

A L - 1 0 0

仕様書

ファイバーダイン株式会社



木材用補修補強剤

タックダイン

AL - 100

『 特 徴 』

- 1．耐硫酸等に対する耐薬品性に優れています。
- 2．作業性が良好です。
- 3．接着性に優れています。
- 4．機械的強度及、耐久性に優れています。

『 用 途 』

- 1．下水処理施設等の防食ライニング
- 2．その他の防食ライニング、コーティング
- 3．木部の補強

『 使用方法 』

- 1．被着体表面のレイトンス、ゴミ、汚れ油分等を除去する。
素地調整材（タックダインパテBG - 200G）で塗布面を処理してください。
- 2．主剤、硬化剤を定められた配合比（4：1）で計量してください。
- 3．主剤と硬化剤が均一になるまで充分に混合攪拌してください。
なお、混合攪拌したものは可使時間内に使用してください。
- 4．金ゴテ、ゴムヘラ等にて塗布してください。
- 5．施工後樹脂が硬化するまで充分に養生してください。

『 性 状 』

項 目	主 剤	硬 化 剤	試験方法
主 成 分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	————
外 観	淡黄色	淡黄色液状	————
配 合 比	主剤 / 硬化剤 4 / 1 （重量比）		————
粘 度	22,000mPa・s	1,900 mPa・s	JIS K 6833
	10,000 mPa・s		
比 重(20)	1 . 4 0	1 . 0 8	JIS K 6833
	1 . 3 5 (硬化物)		
可 使 時 間	6 0 分 （ 2 0 5 0 0 g ）		温度上昇法
指触硬化時間	7 時間 （ 2 0 5 0 0 μ ）		RC 型乾燥時間測定法
加 熱 残 分	9 0 % 以上		JIS K 5400

『 物 性 』

項 目	強 さ	試 験 方 法
引 張 強 さ	2 4 . 5 N/mm ²	JIS K 7113
圧 縮 強 さ	5 8 . 8 N/mm ²	JIS K 7208
曲 げ 強 さ	4 4 . 1 N/mm ²	JIS K 7203
硬 さ	8 5 H D D	JIS K 7215
シャルピー - 衝撃値	2 . 5 N・mm/mm ²	JIS K 6911

養生 2 0 7 日間、試験温度 2 0

『 塗膜の耐水、耐薬品性 』

試 験 液	浸 漬 期 間	試 験 結 果
水 道 水	2 0 5 年	異常 なし
1 0 % 食塩水	2 0 5 年	異常 なし
1 0 % 硫 酸	2 0 5 年	異常 なし
1 0 % 水酸化ナトリウム	2 0 5 年	異常 なし
飽和水酸化カルシウム溶液	2 0 5 年	異常 なし

『 使用上の注意点 』

- 1 . エポキシ樹脂は一度に多量に混合いたしますと発熱が著しくなり、可使時間が短くなりますので、作業に応じて適量で行ってください。
- 2 . 溶剤は施工器具等の洗浄以外には使用しないでください。
- 3 . 毒性はほとんど無くしてありますが、顔や手に付着した時は直ちに石鹼等でよく洗い流して下さい。目に入った場合はただちに流水でよく水洗いし、速やかに医師の診断を受けてください。

『 荷 姿 』

1 ケース 6 k g (1 . 5 k g × 4 セット)

1 セット 7 5 0 g (主剤：1 . 2 k g 硬化剤：0 . 3 k g)

木材用補修補強剤

タックダイن

A L - 1 0 0

技術資料

ファイバーダイン株式会社

F I B E R D I N E

項 目

- 1 . 粘 度
- 2 . 可使時間
- 3 . 指触硬化時間
- 4 . 最小ダレ厚さ（タレ限界）

1. 粘 度

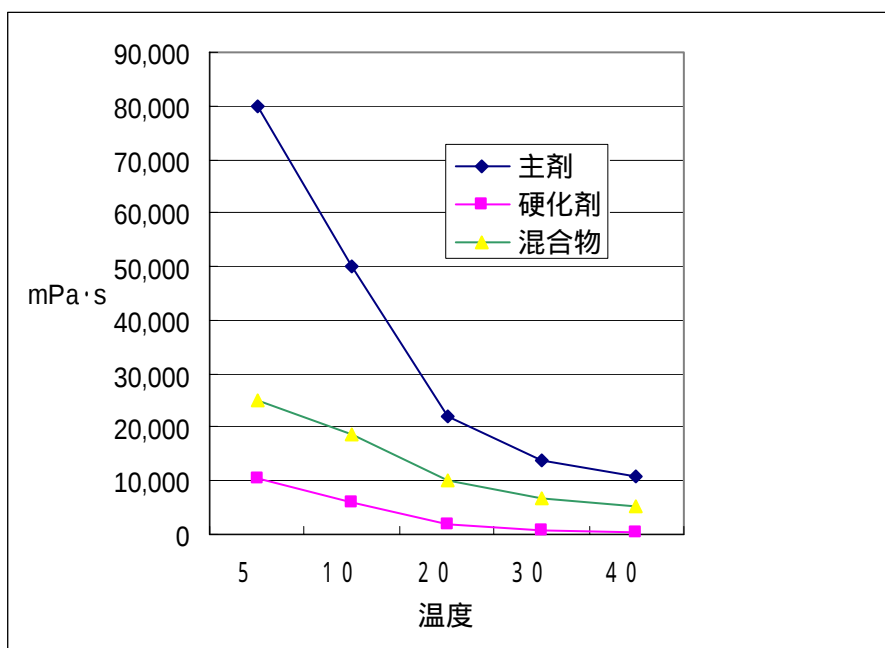
各温度にした循環器付き恒温槽に、主剤および硬化剤を容器にいれ放置し、各雰囲気温度にした後取り出し、直ちに回転粘度計で測定した。

また、混合物については、各雰囲気温度にしたものを正規配合通り計量し攪拌した後、粘度の測定を行った。

単位 (mPa・s)

温度	主剤	硬化剤	混合物
5	80,000	10,500	25,000
10	50,000	5,900	18,500
20	22,000	1,900	10,000
30	14,000	650	6,700
40	11,000	350	5,200

タックダインAL-100の粘度



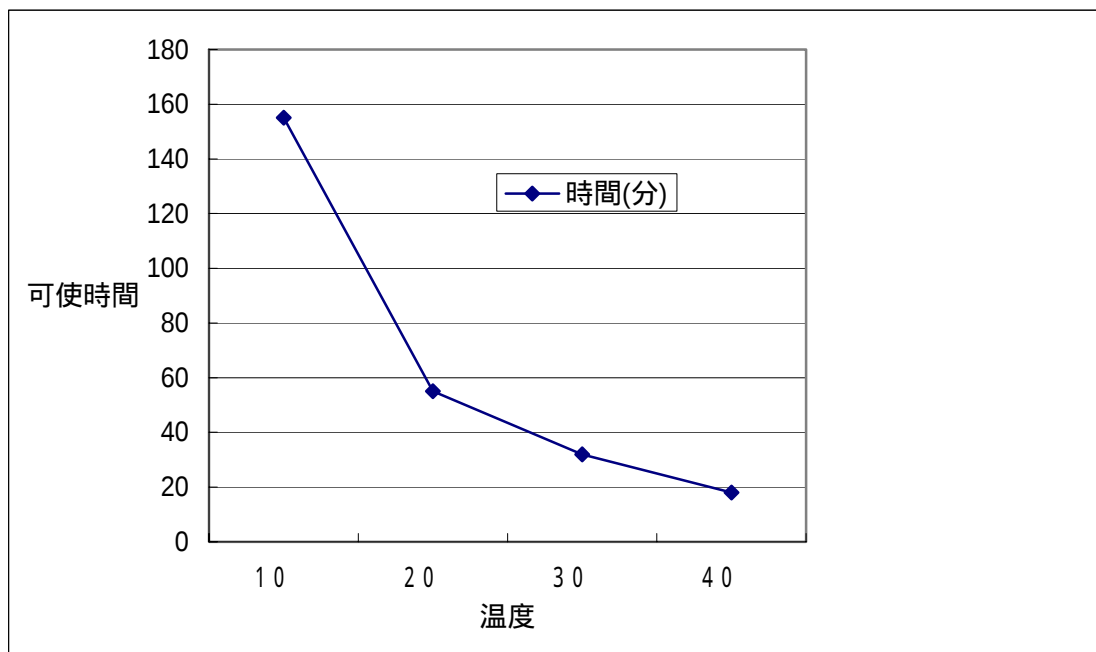
2 . 可使時間

各温度にした主剤 8 0 0 g および硬化剤 2 0 0 g を 1L のポリ容器に計りとり混合攪拌し、その中心部の発熱温度を測定し、最高発熱温度到達時間の 6 0 % を可使時間とした。

なお、測定は各温度に設定した循環器付き恒温槽中で行った。

温度	1 0	2 0	3 0	4 0
時間(分)	1 5 5	5 5	3 2	1 8

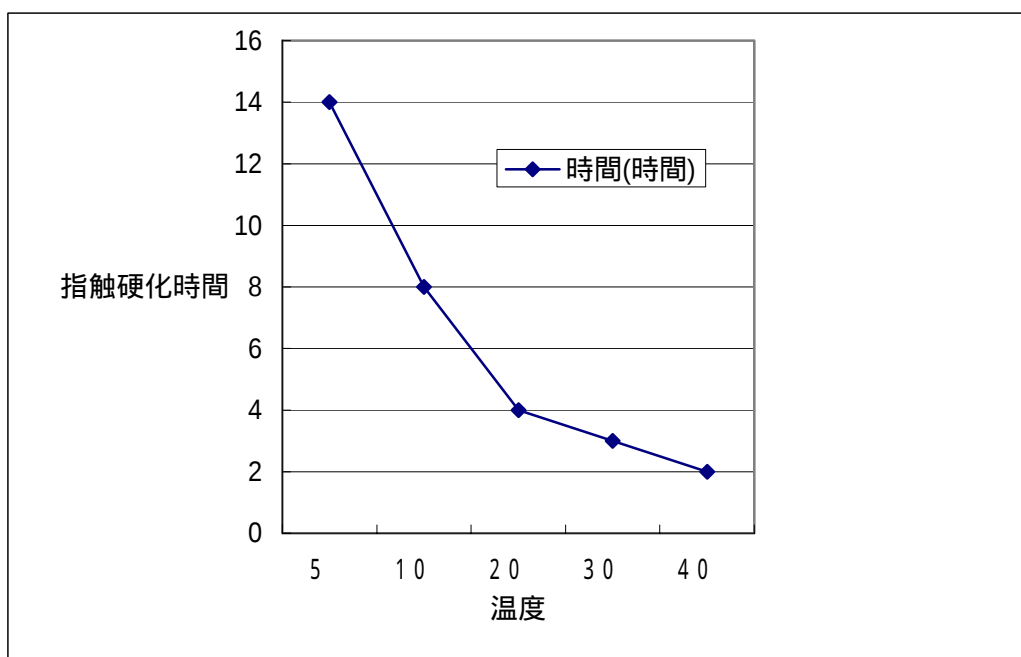
タックダイン A L - 1 0 0 の可使時間



3 . 指触硬化時間

温度	5	1 0	2 0	3 0	4 0
時間(時間)	1 4	8	4	3	2

タックダイナミクス A L - 1 0 0 の指触硬化時間



4．最小ダレ厚さ（たれ限界）

ガラス板上に塗料を直径 3 c m、厚さ 3 mm程度に垂らし、ガラス板を垂直に立て塗料が硬化した後塗料の上端から約 1 c mの厚さを測定しこれを最小ダレ厚さとした。

温度	5	1 0	2 0	3 0	4 0
単位 (μ)	5 5 0	5 1 0	4 3 0	3 9 0	3 6 0

タックダイン A L - 1 0 0 の最小ダレ厚さ

